

製品安全データシート



1, 化学物質等及び会社情報

製品名 (外原規) リン酸 Phosphoric acid

整理番号 84048

作成日 2000年10月29日

改訂日 2009年6月18日

会社名 純正化学株式会社

本社住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-4-16

連絡先及び緊急連絡先(MSDS作成担当)

担当部門 営業本部 担当者 菅野英奇

担当住所 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町1-6

電話番号 048-988-3621 FAX番号 048-988-8719

E-mail: h_kanno@junsei.co.jp

<http://www.junsei.co.jp>

用途と使用上の注意: 本製品は医薬部外品原料(化粧品原料)です。

2, 危険有害性の要約

[GHS分類] (NITE分類 (ID=1003))

健康に対する有害性

急性毒性 経口 :区分4

経皮 :区分5

皮膚腐食性/刺激性 :区分1

眼に対する重篤な損傷性
/刺激性 :区分1

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) :区分3

(注)危険有害性の分類で、「区分外」、「分類対象外」及び「分類出来ない」は項目を省いた。

[GHSラベル要素]

[GHS絵表示]



[注意喚起語]

危険

[危険有害性情報]

飲み込むと有害(経口)

皮膚に接触すると有害のおそれ(経皮)

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ

【注意書】

【安全対策】

- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
- ・粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。
- ・粉じんまたはミストを吸入しないこと。

【救急処置】

- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- ・特別処置が緊急に必要である
- ・気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと / 取り除くこと。
皮膚を流水 / シャワーで洗うこと。
- ・飲み込んだ場合：気分が悪いときは、医師に連絡すること。
- ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。口をすすぐこと。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師に連絡すること。
- ・吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。

【保管】

- ・容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

3, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：単一製品

化学名：りん酸

化学式：H₃PO₄

CAS No: 7664-38-2

含有量：85.0%以上 (残りは水)

化審法：1-422

安衛法：公表

4, 応急措置

吸入した場合：新鮮な空気と安静。必要な場合には人工呼吸。医師に連絡。

皮膚に付着した場合：汚染された衣服を脱がせ、水と石けんで皮膚を洗浄。医師に連絡。

眼に入った場合：先ず数分間、多量の水で洗い流す(できればコンタクトレンズをはずす)。医師に連れて行く。

飲み込んだ場合:意識あるなら、口をすすぎ、2 - 4杯の牛乳か水を与える。意識なければ、何も与えない。医師に連絡。

予想される急性症状及び遅発性症状

最も重要な徴候及び症状

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

医師に対する特別な注意事項

5, 火災時の措置

本品不燃物

消火剤

水スプレー、粉末消火薬剤、AFFF(水性膜泡消火薬剤)、泡消火薬剤、二酸化炭素。

使ってはならない消火剤

データなし

消火方法

周辺火災の場合、出切る限り速やかに容器を火災現場より遠ざける。移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。

着火した場合は風下の人を退避させ火元への燃料源を断ち、風上より消火剤を使用して消火する。消火に当たっては保護具を着用する。

特有の危険有害性:データなし

特有の消火方法:データなし

消火を行う者の保護のために着用する保護具:防火保護服、手袋に加え、空気呼吸器等を着用する。

6, 漏出時の措置

人体に対する注意事項

暴露しないよう十分な換気のもと保護具着用して行う。

保護具及び緊急時措置

「8. 暴露防止及び保護措置」における、保護具着用

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

回収、中和

漏出物をふた付の容器に集め、残留物を砂または不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。

残液は、炭酸ナトリウム溶液等のアルカリ性溶液で中和し、水で洗浄する。

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 蒸気、ミスト、ガスが、皮膚に触れたり、吸入することがないように、局所排気したり、保護具を着用する。

- 作業場を換気する。

- 作業中は飲食、喫煙をしない。

保管

- 密栓して換気のよい冷暗所に保管する。

8, 暴露防止及び保護措置

通気:換気装置を用いて、ミスト、ほこり、蒸気濃度を低く保つ。

許容濃度

ACGIH(2007年)TLV-TWA:1mg/m³;STEL:3mg/m³
日本産業衛生学会勧告値(2006年):1mg/m³
OSHA PEL (Gen Indu): 8H TWA:1mg/m³
MSHA STANDARD- air:TWA:1mg/m³

設備対策

局所排気装置

保護具

- 酸性ガス用毒マスク、送気マスク、空気呼吸器等。
- 不浸透性保護手袋。
- 安全ゴーグル。
- 不浸透性保護衣。

9, 物理的及び化学的性質

外観:透明なシロップ状液体

臭い:データなし

pH: 強酸性

融点:データなし

沸点:データなし

引火点:不燃物

爆発範囲の上限・下限: 爆発しない

蒸気圧:データなし

蒸気密度:データなし

比重(相対密度):約 1.69g/ml

溶解度:水に溶ける

n-オクタノール/水分配係数:データなし

自然発火温度:不燃物

分解温度:データなし

10, 安定性及び反応性

反応性と安定性:常温常圧で安定

避けるべき条件(静電放電、衝撃、振動など):データなし

混触不可物質:アルカリ類、アミン類、三塩化リン、塩化ホスホリル、金属、アルコール、アルデヒド、シアン化物、ケトン、フェノール、エステル、硫化物、ハロゲン化有機物

危険な分解生成物:燐酸化物

危険な重合反応:しない

11, 有害性情報

急性毒性 経口

ラット LD50 値:1530mg/kg(RTECS, 2006、IUCLID, 2000、HSDB, 2006)、1250mg/kg
(RTECS, 2006)に基づき、区分4とした。

急性毒性 経皮

ウサギ LD50 値:2740mg/kg(RTECS, 2006、IUCLID, 2000、HSDB, 2006)に基づき、区分
5とした。

急性毒性 吸入:ガス

データなし

急性毒性 吸入:蒸気
データなし

急性毒性 吸入:粉塵ミスト

RTECS (2006)にラット LC50(1 時間)値: > 0.85mg/L (4時間換算値>0.21mg/L)とのデータがあるが、このデータだけでは区分が特定できないことから、データ不足のため分類できないとした。

皮膚腐食性 / 刺激性

24 時間暴露の影響ではあるが、IUCLID (2000)のウサギの皮膚に 75-85%溶液を適用した試験において腐食性が認められたとの記述、および 0.1N 水溶液のpH が 1.5 の強酸であることから、区分1A-1Cとした。

眼に対する重篤な損傷性 / 刺激性

皮膚腐食性であることから、区分1とした。

呼吸器感作性

データなし

皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器 / 全身毒性(単回暴露)

ACGIH (7th, 2001)、産衛学会勧告(1993)のミストは上気道に刺激的であるとの記述から、区分3(気道刺激性)とした。

特定標的臓器 / 全身毒性(反復暴露)

データなし

吸引性呼吸器有害性

データなし

12, 環境影響情報

- 生態毒性

水性環境急性有害性

データなし

水性環境慢性有害性

データなし

(化審法既存化学物質の安全性点検)データなし

- 分解性:

- 蓄積性:

13, 廃棄上の注意

中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14, 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。

国連番号:1805
品名:リン酸
国連分類:8(腐食性物質)
容器等級:
海洋汚染物質:非該当

15, 適用法令

消防法:非該当
毒劇法:非該当
現PRTTR法:非該当(平成12年3月30日施行)
新PRTTR法:非該当(平成20年11月21日公布)
労働安全衛生法:安衛法通知有害物(施行令、別表第九の番号):618(リン酸)

16, その他の情報

参考文献

- メルクインデックス13版7430
- STNインターナショナル RTECS ファイル AQUIRE ファイル
- 危険物船舶運送及び貯蔵規則;危険物総索引(九訂版)日本海事検定協会(海文堂)
- 改訂第2版 緊急時応急措置指針(日本規格協会)(指針番号:154)
- NITE GHS 分類データ (ID=1003)
- NITE GHS 分類マニュアル(H18.2.10 版)
- JISハンドブック(試薬)
- 医薬部外品原料規格 2006 (外原規 2006)
- 食品添加物公定書解説書(第8版)
- 製品安全データシートの作成指針(改訂第2版)((社)日本化学工業協会)
- 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)(NITE) <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。